

【かんたんガイド】SwitchBot_Eye_BTアプリ

このアプリは、「Windows/パソコンの視線入力で、家電品（扇風機やライトなど）をON/OFFする」ために作ったツールです。基本的にマウスポインターを動かせば使えますので、視線入力だけでなく、ポインティングデバイス（マウス、トラックパッド、トラックボール、ジョイスティック型マウスなど）に入力できればOKです。

1. 準備するもの

- (1) Windows/パソコン: 視線入力装置 (Tobii Eye Tracker 5など) が動いているもの。
※ 視線入力では使わないという場合、視線入力装置は必要ありません。
- (2) SwitchBotプラグミニ: コンセントに差し込んでおきます。
- (3) 動かしたい家電品: SwitchBotプラグミニに差し込み、主電源を「ON」にしておきます。
- (4) Webカメラ: 必須ではありませんが、動かしたい家電品をユーザーに認識してもらいやすくなるので便利だと思います。
- (5) SwitchBotアプリをインストールしたスマートフォンとWi-Fi: 初期設定の時に必要です。
※ 初めてSwitchBot製品やSwitchBotアプリを使う方は、こちらのサイトを読んで設定しておきましょう。→

<https://bot-lab.tech/switchbot-howtouse/>



2. スマートフォンでSwitchBotプラグミニのBluetooth用MACアドレスを調べる

- (1) SwitchBotプラグミニをコンセントに差し込みます。
- (2) スマートフォンのSwitchBotアプリを立ち上げます。



SwitchBotアプリをタップします



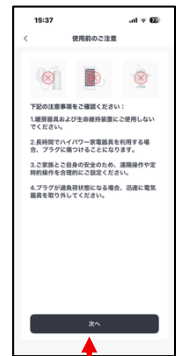
【デバイスを追加】をタップします



下から上にスクロールします



【プラグミニ (JP)】をタップします



【次へ】をタップします

- (3) 使用するSwitchBotプラグミニのBLE-MACを調べてメモしておきます。



SwitchBotプラグミニの本体側面にある電源ボタンを2秒ほど長押しして、本体表面にあるランプを点滅させます

ランプが点滅したら【次へ】をタップします



BLE-MACの右に表示された文字列をメモしておきます
例 → A0:E3:2C:4E:31:DE

3. 使いかた(支援者向け設定)

アプリ【SwitchBot_Eye_BT.exe】を [GitHubのダウンロード先](#) からダウンロードしたらダブルクリックして起動しましょう。
アプリ画面の上の方にある 1. 支援者用設定 (Bluetooth接続)→2. タイマー秒数→3. ON の順で支援者が設定してください。

(1) SwitchBotプラグミニを探す

- ① 【🔍SwitchBotプラグミニを自動探査】ボタンを左クリックします。
 - ・5秒ほどで自動的にSwitchBotプラグミニを見つけます。
 - ・【🔍SwitchBotプラグミニを自動探査】ボタンの右の文字が「BT準備中」→「**スキャン中**」→「完了」になればOK。
- ② 【手動:】の右にある下向き三角印▽を押して、2. (3)でメモしたBLE-MACと同じ文字列を左クリックします。
- ③ 【接続】ボタンを左クリックします。
 - ・【🔍SwitchBotプラグミニを自動探査】ボタンの右の文字が「**接続中**」→「**接続完了**」となればOK。

(2) カメラを選ぶ

スイッチONボタン(緑色の四角)に家電品が映るようにしたい時には「カメラ1」または「カメラ2」を選んでください。

※「カメラ」は外付けWebカメラ、ノートパソコンのインカメラ、iVCamなどが自動で選ばれます。

※外付けWebカメラのみ使用したい場合は、Windowsの設定アプリから Bluetoothとデバイス>カメラ>接続済みカメラ
に表示される外付けWebカメラ以外のカメラを無効にしてください。

(3) 音の有無を選ぶ

SwitchBotプラグミニがONになった時に音が鳴ります。

音を鳴らしたくない場合は□を左クリックしてチェックマークをはずしてください。

(4) 動作モード(動き方)を選ぶ

- ① **クリックor注視でタイマー**: ボタンの中にマウスポインターを動かしてクリックすれば、タイマー設定した時間、家電品ON。
- ② **マウスオーバーでタイマー**: マウスポインターがボタンの中に入った瞬間、タイマー設定した時間、家電品ON。
- ③ **マウスポインターがボタン内にある間ON**: マウスポインターがボタンの上にある間ずっと家電品ON。
 - ※視線入力装置を使ってマウスポインターを視線で動かせば上記3つの動作モードが働きます。
 - ※注視時間は視線マウスアプリで決めてください。
 - ※①②でタイマーがONになると【3. ON】の文字が【**実行中** **○秒**】に変わり、カウントダウン表示されます。

(5) タイマー秒数を決める

上記動作モードで①②を選んだ場合、スライダーを動かして1秒～180秒でタイマー設定ができます。

(6) ボタンサイズを選んで適切な場所に配置する

スイッチONボタン(緑色の四角)はサイズが大中小から選べて、ドラッグ操作で配置場所を移動させることができます。

(7) 全画面表示ができます

キーボードの[F11キー]を押すと、全画面表示とウィンドウ表示を切り替えることができます。

4. やってみよう！(ユーザーによる操作)

設定が終わったら、画面中央の大きな緑色の四角形が家電品のスイッチをONにするボタンになります。

- ・**家電品を動かす**: 緑色の四角形のボタンの中にマウスポインターを動かしましょう。
- ・**ONのしるし**: 家電品がONになると四角形のボタンの枠が **赤色** になります。

